

生成AIが変える仕事の未来：光と影

生成AIの台頭により、定型作業が自動化され、人間の仕事は『意思決定』へシフト。
この変革は効率化と同時に、新たなリスクや課題も生み出している。

光

影



年間45万時間の業務を削減

パナソニックコネク社が、社内向け生成AIアシスタントの導入で実務。

情報収集や資料作成の時間を大幅に短縮

AIが定型作業を代行し、人間はより戦略的・創造的な業務に集中できる。



商談準備時間を7割削減

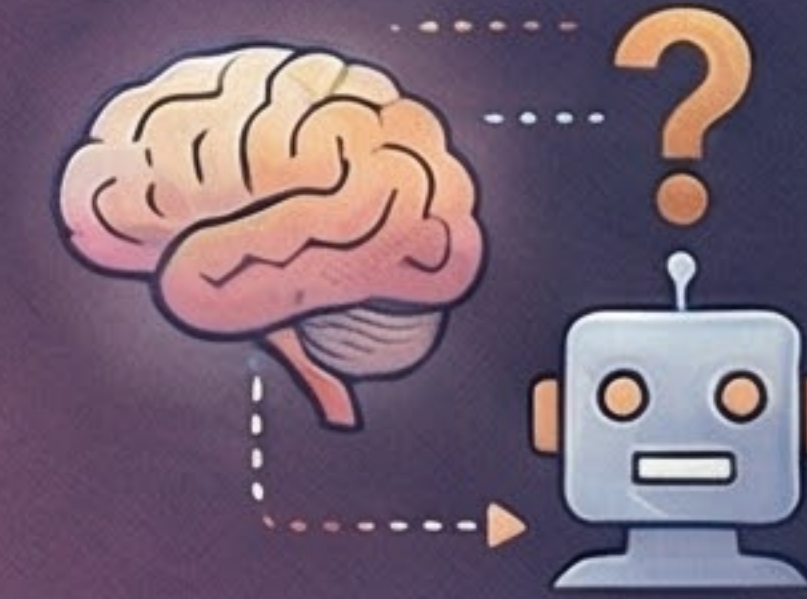
三井住友海上火災保険での試験導入で、情報収集の時間が大幅に短縮された。

成功への道筋



AIが誤情報を生成するリスク(ハルシネーション)

語ったデータに基づく判断は、大きな経済的読書に繋がる恐れがある。



AIへの過度な依存で思考力が低下する懸念

MITの研究では、AI利用で批判的思考力や創造性の低下が観察された。



AIで利益率が改善した企業はわずか15%

多くの企業では、生成AI導入の効率がまだ限定期であるとの調査結果も。



AIは「思考の補助具」、最終判断は人間が担う

AIの出力を鵜呑みにせず、人間の物語を税込む協働関係が重要となる。



人材育成とガバナンス体制の構築が成功のカギ

適切なルール作りと、全社的な社員のリスクリテラシーが不可欠。